

# えがおのたねとき

2023年  
新春

あけましておめでとうございます。

2023年が皆様にとって、さらに実り多い佳き年となりますようにお祈りしております。

社会情勢はきな臭く、物価高もあり、家計は火の車で大変なことも多いこの頃です。

どんな時代であっても、子ども達が自分らしく、どんどん輝き、「生きていて楽しい♡」と心から思えるように、私たち大人が手を取り合っていけるよう、えがおのたねは今年一年、気持ちも新たに邁進していく所存です。

## Staff column

### DCD(発達性協調運動障害)の息子と学校

現在小学校6年生の息子は書字を苦手としています。手先が不器用なので実技科目も苦手です。以下学校にお願いしてきたこと、時代とともに学校が変化してきたことについてお伝えします。



#### 《漢字練習に関して》

低学年の時には面談のたびに担任の先生に「とめ・はね・はらい」に関してはある程度目をつぶってほしいとお願いしてきました。それでも漢字ドリルは直しの付箋だらけでした。学年が上がるにつれて漢字ノートのマスが小さくなり、練習も増えるので4マスに1文字、書く量を減らしてもらいました。このアドバイスは通級指導教室の先生が学校に来所してくださり提案していただきました。アドバイスにより、負担が軽くなったのか、一文字ずつ丁寧に覚える習慣ができたのか、漢字テストの点数が上がりました。漢字に関してはマスに収まる字を書けるようになりました。

#### 《板書に関して》

目と手の連動に困難を抱えている息子は板書することはかなり負担です。定規の使い方もうまくなく、滑り止めのついた定規を使用しています。

板書に関してはコロナのころから一人一台のChromebookが貸与され、負担がかなり減りました。自主学習も作文もパソコンで入力したものをそのまま送信で提出できるようになりました。卒業文集もパソコンで下書きを作り、手書きをしたい人は手書きにして提出と選べるようになりました。ほとんどの科目で先生が事前に配信してくれたシートに入力していく形式になり板書の負担が大幅に減っています。

算数に関しては話し合いをしながら板書をしていくので、書くのを減らすのは難しいとのことでしたが、ノートを取らなくても最後にChromebookで写真を撮っていいとの許可が下りたので、板書しなくともよくなりました。

理科などの実験の様子を絵で描くことが以前はありましたが、現在は結果を写真に撮って送信に代わっているようです。

また、連絡帳を書く必要はなくなり、必要な持ち物、連絡はすべてChromebookで配信されており、忘れ物は格段に減っています。ここ数年の学校の変化は、息子にとってとても過ごしやすいものとなっています。

#### 《実技に関して》

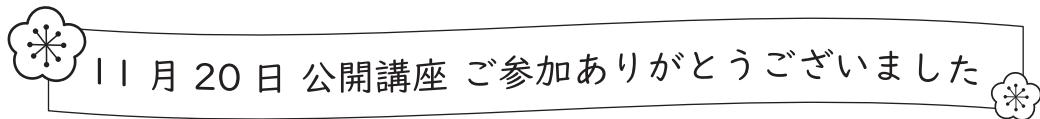
鉄棒は年中の時は手の力が弱くて、ぶら下がることもできませんでした。「このままでは運動会の棒のぼりができるない」と言われたときはかなりショックでした。ちょうど発達の遅れを指摘され始めた頃でした。それでも先生の丁寧な指導のおかげで本番では無事に登りきることができました。

縄跳びに関しては、YouTubeの動画等を参考にして、なんとか飛べるようになりました。ゆっくりですが、できるようになることもありますし、親子ともども、これはまあできなくていいか(鉄棒の逆上がりや跳び箱の高い段等)と思うこともあります。

古荘先生の講演会でもありました。DCDの子どもに実技の個別支援があればいいなと思います。ただ、本人ができるようになりたいか、楽しんで続けられるかでその都度考えていくべきではないかと思えるようになりました。以前は学校に相談することも、お願いすることもハードルが高いように感じていました。

現在の担任の先生は、「得意なことは伸ばせばいいし、苦手なことはほどほどでいいですよ」と言ってくれました。

「この年齢ではこれくらいできるはず」という発達の目安にとらわれることなく、不得意なことも含めて個々の成長を学校と相談しながら見守っていくという形に落ち着いてからは、気持ちもラクになり、日々を楽しめるようになりました。(Lino スタッフ S)



(sakuko のコラムより抜粋)

えがおのたねでは、「地域に根ざして、存在価値があるように」という理念のもと、毎年公開講座を行っています。

今回は、青山学院大学の古荘先生をお招きして、『いい親』をやめるとラクになる』というテーマで講演会が行われました。当日は現地とオンラインで 30名以上の方の参加がありました。

前半では「子どもの QOL や自尊感情について」自尊感情を育むためには、「褒められる」「話を聞いてもらう」「選択肢の中から選ぶ」といった、『肯定的(能動的)な出来事』が大切であること。さらに、同じ「褒められる」でも、「与えられたものができるて褒められる」ということより、「自分で考えたものができた褒められる」という『能動的な体験の方が自己肯定感を育む』というお話をうかがえました。

また後半の架空事例では、子育ての困難の理由が子どもにあるのではなく、母親が育児に負担を感じていたり、自己肯定感が低かったりするために起きていた。というお話もうかがうことができました。

### ★参加された方のアンケートより★

- ・「良い親を決めているのは親自身であり、子どもの言葉を聞くことが大切」と聞き、ハッとした。
- ・日々子ども達と関わる中で、あれこれ考え、大切なことを見失いがちになりますが、良い子育てを求める以上に、“その子にとって何が大切か”を見つめ続けることが必要だと分かりました。

今回の講座が保護者の方にとって、そんなふうに「ちょっと肩の力を抜いてご家庭でお子さんと過ごす」きっかけになったらいいな~。と思いました。



sakukoのコラム



☆スマホでご覧いただけます☆

私たちえがおのたねは、現在、正会員21名、賛助会員65名です。充実した施設運営のため、新規の正会員・賛助会員を募集しています。ぜひ皆様のお力添えをお願いします。

H P ・ メール ・ お電話にてお知らせください。

会員、賛助会員の方には、季節ごとのたねまき通信や子育て情報を届けます。既に会員の方には継続をよろしくお願ひいたします。

《賛助会費》 一口 (年会費) 千円

《正会員費》 (入会金) 1万円 (年会費) 五千円

【振込み先】 ゆうちょ銀行 記号10360 番号 21600941

みんなで遊んで手作りおやつとお茶でほっこり一息  
楽しいおしゃべり悩みも気軽に相談  
(個別相談も受け付けます)

対象: 未就学のお子さんとその保護者  
参加費: おやつ代100円 場所: きなこ

1月24日(火)・2月14日(火)・3月14日(火)  
9:30~11:00

-----  
※駐車場は狭いので、お申し込み時にご確認下さい。

えがおのたね蒔き通信  
第35号 2023年1月発行

【発行】特定非営利活動法人えがおのたね

〒359-0021 所沢市東所沢 3-6-17

TEL/FAX 04-2008-2437(きなこ)

Email(メールアドレス)  
info@egaonotane.biz

URL(ホームページ)  
<https://egaonotane.biz/>



☆Facebookもやってます!☆